授業科目	＊地域活性化演習（B クラス）					単位	1
履　　修	必修	関連資格				ナンバリング	TO22103J
開講年次	2	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP1-4 DP2-1 DP2-2 DP4-1 DP4-2 DP5-2		
担当教員	池口　功晃						
授業概要	地域活性化という言葉は最近流行の言葉ですが、その意義は多岐にわたります。本授業においては地域活性化の重要な担い手である企業等を中心とした生産主体に着目し、企業と学生の共同作業を通じて一定の成果を追求することを目的とします。具体的な授業の流れとしては、さまざまな企業とのコラボを通じて一定の成果を上げることを予定しています（中間発表、成果発表会実施）。 ただし、企業等の選定～共同作業の提案～成果発表に至る過程でアクティブラーニングの形式をとるため、随時企業を訪問し共同作業をおこなうことを予定しています。なお、企業の選定にあたっては事前に共同作業の打診をおこないます。詳細については授業で説明します。 企業と学生のコラボの具体的なイメージとはしては次のようなものを想定しています。 （例） ・菓子メーカーと西南女学院大学学生のコラボによる新スイーツの開発 ・航空会社と西南女学院大学学生のコラボによる機内誌の開発 ・自治体と西南女学院大学学生のコラボによる観光マップの作成、等 ・温泉観光地と西南女学院大学学生のコラボによる集客戦略の策定 （注1）授業計画は相手先企業との都合および昨今の新型コロナウイルス関係により若干変更する場合もあります。 （注2）授業はすべて遠隔授業で行う。						
学生が達成すべき行動目標	1．前期で履修した「ビジネス演習」の知識を通じて企業へ共同作業を提案し、一定の成果物を生み出す。 2．アイデアの発案、共同作業を通じて商品・サービス開発の過程を学ぶことで地域活性化にういて自らの言葉で説明できる。						

達成度評価

評価と評価割合／評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	55	45	0	0	100	
知識・理解（DP1-1）			5	5			10	
知識・理解（DP1-2）								
知識・理解（DP1-3）								
知識・理解（DP1-4）			15	10			25	
思考・判断（DP2-1）			5	5			10	
思考・判断（DP2-2）			15	10			25	
関心・意欲（DP3-1）								
関心・意欲（DP3-2）								
態度(DP4-1)			5	5			10	
態度(DP4-2)			5	5			10	
態度（DP4-3）								
技能・表現（DP5-1）								
技能・表現（DP5-2）			5	5			10	
技能・表現（DP5-3）								

具体的な達成の目安

理想的レベル	標準的なレベル

企業等との商品・サービス開発を学ぶ過程で、企業を通じた地域活性化への具体的な提案ができる。	企業等との商品開発作業を通じて地域活性化のあり方を学ぶ。

授業計画

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	授業ガイダンス：地域活性化とは何か	講義	該当部分の復習	50
2	企業の選定	グループワーク	該当部分の復習	50
3	企業への打診と打ち合わせ作業	グループワーク	該当部分の復習	50
4	企業との共同作業（課題の発見）	グループワーク	該当部分の復習	50
5	企業との共同作業（課題解決へ向けた提案）	グループワーク	該当部分の復習	50
6	企業との共同作業（目的達成、成果の確認）	グループワーク	該当部分の復習	50
7	第1回中間発表（A グループ）	グループワーク	該当部分の復習	100
8	第1回中間発表（B グループ）	グループワーク	該当部分の復習	100
9	第1回中間発表（C グループ）	グループワーク	該当部分の復習	100
10	第2回中間発表（A グループ）	グループワーク	該当部分の復習	100
11	第2回中間発表（B グループ）	グループワーク	該当部分の復習	100
12	第2回中間発表（C グループ）	グループワーク	該当部分の復習	100
13	成果発表会（A グループおよび B グループの一部）	グループワーク	該当部分の復習	100
14	成果発表会（B グループの一部および C グループ）	グループワーク	該当部分の復習	100
15				
16				
17				
18				
19				

20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				

理解に必要な予備知識や技能	「ビジネス演習」（2年前期）を履修しておくことが望ましい。
テキスト	随時、授業レジュメを配付する。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	高橋徳行編著（2017）『ケーススタディ　地域活性化の理論と現実』 同友館 小林勇治・波形克彦編著（2015）『「地方創生でまちは活性化する』 同友館
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	企業と学生がコラボして新しい商品や価値を生み出す授業を予定しています。この経験が将来の就職に役立つかもしれません、是非、積極的に授業に参加するようにしてください。 *なお、授業計画および進度は相手先企業との都合により若干変更する場合もあります。
達成度評価に関するコメント	アクティブラーニングの授業を取り入れているため、授業への積極的な参加を望みます。

13108302＊地域活性化演習（B クラス）